

は し が き

漁業専管水域200海里時代の幕明けとなった年であり、今後の対応が論議された年度である。幸い、県漁業生産高は、マイワシの豊漁、ノリの豊作もあって前年度を上廻る年となった。県財政はオイル、ショック以来の窮迫状態から脱しきれず、51年度は前年度にまして厳しい予算での業務の遂行を余儀なくされた年である。水試予算は前年度予算を大巾に下廻ったが、そのなかで重点的に対処した事業についてふれてみたい。

尾張分場において前年度の取水施設整備に引続き種苗の量産化を向上安定させるため、海水漏過施設を補修した。

前年度、新規に計上した栽培漁業促進試験費の増額をはかってタイド、プール式放流を網囲い式、盆式(金網籠に清砂をいれて稚エビを潜入させたもの)、マット式(マットに稚エビを潜入させたもの)等に切替えて新しい放流技術の開発を試みた。低比重という環境のためか、その効果を確認するに至らなかったのが残念である。

51年5月三重県尾鷲市で発生したゴニオラックス・カラネラによるアサリ毒化の中毒事件が発生し、赤汐による貝毒化の状態を調査した。アサリ・バカガイ・イガイについて秋から春にかけて10回、毒性検査を行ったが異常は認められなかった。

PCB蓄積量の比較的多い衣浦産 ボラ・コノシロ、40検体について調査したが何れも暫定規制値(3 ppm)以下であった。

新規に降海性アマゴ放流技術開発試験を岐阜・三重県と共同研究を行い、豊川河口で7,000尾のアマゴを海水馴致後放流した。三河湾放流のものは他県放流分のものに比較して成長は劣ったが他海域に余り回遊せず、3%の再採率となった。回遊範囲が沿岸部であり200海里時代の新しい資源として将来が期待される。

ホタテガイ養殖は前年度の予備試験に続き、北海道から10,000個の半成貝(平均64mm、36g)を導入して試験した結果、52年5月27日平均89mm、93gに成長し歩留94%となり、伊勢・三河湾に新しい養殖適種として注目を浴びることであろう。

以上、主なる内容にふれたが、200海里時代を迎えて沿岸漁業の見直しを通じての増養殖業の推進は当然の対応であり、当場の業務も限られた人員、予算のなかで、その方向に焦点を絞って対応すべきであると考へているので、大方の御鞭撻を願って止まない次第である。

昭和52年5月

愛知県水産試験場長 吉見 吉夫

目 次

水産試験場の概要	1
本 場	
水産資源調査	
漁況、海況予報事業	9
沿岸重要資源調査	17
漁場環境調査	
沿岸漁場調査(赤潮等調査)	21
三河湾奥部における異状環境と魚介類のへい死	24
三河湾生態系調査	28
有毒プランクトンの発生環境調査	29
海況自動観測装置管理事業	30
水産公害調査並びに試験	
豊川上流域に棲息するカワムツの水銀汚染の機構解明調査—II	41
ホルマリンのフナに対する毒性	55
魚類に対するカドミウムの蓄積	59
油処理剤の魚介類に対する毒性	68
水産物汚染調査	66
伊勢湾水質汚濁総合調査並びに伊勢湾栄養塩収支挙動調査(環境庁委託事業)	78
水質監視調査事業(環境庁補助事業)	80
水産被害調査	81
木材消毒剤がノリに及ぼす影響について	85
水質調査船「しらなみ」運航	90
沿岸、近海漁業試験	
渥美外海漁場調査	92
貝けた網漁業	118
源式網漁具改良及び漁獲性能	150
底延縄漁業	158
増養殖技術開発試験	
栽培漁業促進 —クルマエビ放流—	171
ノリ品質向上	181

ノリ優良種苗供給事業	184
ヒロメ・ワカメ交配種の養殖	185
水産業改良普及事業	
ノリ生産概況及び漁場環境調査	189
ノリ沖合養殖施設の改良	209
アカガイ類養殖	219
底曳網ロープの改良	229
漁村青壮年育成対策事業	237
漁民相談及び漁民研修所利用実績	
漁民相談	240
漁民研修所利用実績	242
各種事業関連調査	
藻場保護水面調査	244
人工魚礁調査	249
尾張分場	
魚類増養殖技術試験	
クルマエビ種苗生産	252
ガザミ種苗生産	253
アカガイ人工採苗	258
かん水種苗量産化	260
藻類増殖技術開発試験	
ノリ	268
コンブ	269
モズク	271
伊勢湾・知多湾沿岸漁場調査	273
水産種苗供給事業	
アワビ種苗生産	288
ワカメ種苗生産	288

内水面分場

アユ種苗化技術開発試験

- 海水半流水、汽水循環ろ過方式による生産効果について..... 285
- クロレラ利用によるシオミツツボワムシの培養..... 293

養鰻技術研究

- ウナギの循環ろ過飼育における収容密度が環境要因、成長に及ぼす影響について..... 295
- (飼育量に対する最低換水率の追究)
- ヨーロッパウナギの止水養殖における収容密度が環境要因及び成長に及ぼす影響について..... 305
- 養成ヨーロッパウナギの雌雄の外部形態的差異と性比について..... 311
- 養成アメリカウナギの雌雄の外部形態的差異と性比について..... 316
- ペコ病に関する研究 — I (感染試験)..... 322

内水面増殖指導調査

- 養殖技術指導..... 329
- 海産アユ河川放流効果調査..... 331
- シラスウナギ漁況調査..... 335

(鳳来養魚場)

冷水性魚類技術開発試験

- 鳳来マスの純系作出について..... 340
- ニジマス受精卵のヨード剤消毒について..... 342
- 降海性アマゴの放流技術開発研究..... 345

冷水性魚類種苗供給事業

- 鳳来マス発眼卵供給..... 349

指導調査

- 冷水性魚類養殖の現況..... 350

(弥富指導所)

優良親魚育成試験

- 優良親魚育成..... 352
- キンギョの優良型の選別率について..... 353
- オイル添加飼料によるキンギョの成長促進について..... 355
- ニシキゴイ型付判定について..... 358

魚病対策試験

人為的條件の複合による穴あき病の復元性について	362
スルフィソゾールによる穴あき病の予防	365
昭和51年度キンギョ池病害発生状況	366

養魚環境保全調査

弥富地区キンギョ養殖池、養殖用水調査	371
薬剤散布が植物プランクトンに及ぼす影響	383
キンギョ養殖池のケンミジンコの駆除	385
バクテリア群による養殖池の水作りについて - I	389
全 上 - II	393
全 上 - III	401

指導調査

弥富地方のキンギョ養殖状況	405
海部地方養殖河川水質調査	408

水産試験場の概要

主要施設

(1) 本場

所在地 蒲郡市三谷町若宮97 設置年月日 昭和38年4月26日
敷地面積 5,952.89㎡

建物等

(昭和51年4月現在)

名称	構造	数量	面積
本館	鉄筋コンクリート2階建	1	1,489.32㎡
船員室及び作業場	木造平屋カワラ葺	1	102.30㎡
培養室	軽量鉄骨平屋建スレート葺	1	130.68㎡
油庫	コンクリート造り平屋	1	9.94㎡
船員浴室	コンクリート造り平屋	1	9.79㎡
恒温室	鉄筋コンクリート平屋建	1	74.88㎡
研究実験室	鉄骨造平屋建	1	205.05㎡
化学排水処理室	軽量鉄骨平屋建スレート葺	1	25.00㎡

船舶

名称	用途	構造等	竣工
海幸丸	漁業調査船	鋼製 99.65トン 280馬力	昭和39年4月
白鷗	作業船	木造 7.84トン 35馬力	昭和44年12月
はつかぜ	作業船	軽合金製 2.65トン 25馬力	昭和41年3月
しらなみ	水質調査船	F R P製 48.30トン 395×2馬力	昭和46年10月

海況自動観測装置

名称	構造等	設置場所	設置年月日
海況自動観測塔	気温・水温・潮位・塩分 検出用	幡豆郡吉良町宮崎地先	昭和45年2月23日
海況自動観測装置No.1	気温・塩分・水温 検出用	蒲郡市三谷町地先	昭和47年3月25日
海況自動観測装置No.2	気温・塩分・水温 検出用	知多郡美浜町地先	昭和47年3月25日
海況自動観測装置No.3	気温・塩分・水温 検出用	渥美郡田原町地先	昭和48年3月20日

(2) 尾張分場

所在地 知多郡南知多町大字豊浜字豊浦3の8 設置年月日 昭和38年4月26日

敷地面積 7,897.51㎡

建物等

(昭和51年4月現在)

	名称	構造	数量	面積
分 場	本館	鉄筋コンクリート2階建	1	405.00㎡
	水槽実験室	軽量鉄骨平屋建	1	64.80㎡
	車庫	鉄骨平屋建	1	27.50㎡
	倉庫	木造平屋建	1	26.44㎡
	化学排水処理室	軽量鉄骨平屋建スレート葺	1	25.00㎡
種 苗 供 給 施 設	管理室	木造平屋建	1	146.61㎡
	培養室	平屋	1	238.16㎡
	養成池上屋	スレート葺平屋	1	558.00㎡
	ポンプ小屋	ブロック造り平屋	2	30.46㎡
	貯水槽上屋(A)	コンクリート造り平屋	1	30.00㎡
	貯水槽上屋(B)	コンクリート造り平屋	1	20.00㎡
	エビ・カニ養成地上屋	スレート葺平屋	1	58.80㎡
	ふ化水槽	鉄筋コンクリート造り	3面	25.90㎡
	育成水槽	鉄筋コンクリート造り	12面	85.40㎡
	餌料培養水槽	鉄筋コンクリート造り	9面	10.65㎡
	養成水槽	鉄筋コンクリート造り	23面	427.00㎡
	200トン水槽	鉄筋コンクリート造り	2面	200.00㎡
	親魚池		2面	780.00㎡
その池		6面	474.00㎡	

船舶

名称	用途	構造	等	竣工
ちた	作業船	木造	4.26トン 20馬力	昭和45年10月

(3) 内水面分場

内水面分場 幡豆郡一色町大字細川字大岡一の割 昭和44年4月10日 5,991.78㎡

名 称	構 造	数 量	面 積
本館	鉄筋コンクリート造平屋建	1	183.47㎡
管理 人 室	コンクリートブロック造平屋建	1	50.25㎡
車庫	スレート造り平屋建	1	29.75㎡
ポンプ室及び機械室	スレート造り平屋建	1	39.66㎡
自転車置場	スチールパイプ造り平屋建	1	15.27㎡
魚類実験室	軽量鉄骨平屋建スレート葺	1	70.00㎡
加温室	鉄骨平屋建スレート葺	1	12.96㎡
養成池	鉄筋コンクリート造り	25面	809.04㎡
貯水槽	鉄筋コンクリート造り	1	220.00㎡
土地		2面	182.70㎡

鳳来養魚場 南設楽郡鳳来町大字四谷字長手 昭和39年5月2日 3,619.85㎡

名 称	構 造	数 量	面 積
本館	軽量鉄骨平屋建	1	91.50㎡
採卵室	木造平屋建	1	47.83㎡
ふ化室	木造平屋建	1	35.63㎡
車庫	木造平屋建	1	29.85㎡
冷凍魚池	木造平屋建	1	6.48㎡
稚魚池	鉄筋コンクリート造り	19面	380.27㎡
親魚池	鉄筋コンクリート造り	3面	308.73㎡
職員 公 舎	木造平屋建	1	49.68㎡

弥富指導所 海部郡弥富町大字前ヶ須新田字野方 昭和49年5月25日 3,499.00㎡

名 称	構 造	数 量	面 積
本館	鉄筋コンクリート造平屋建	1	132.39㎡
作業 室	スレート造平屋建	1	32.40㎡
車庫	コンクリートブロック平屋建	1	26.73㎡
ポンプ室	スレート造り	1	6.48㎡
化学排水処理室	軽量鉄骨平屋建	1	25.00㎡
貯水槽		1	70.00㎡
試験池	コンクリート造り	15面	87.07㎡
土地		8面	384.00㎡

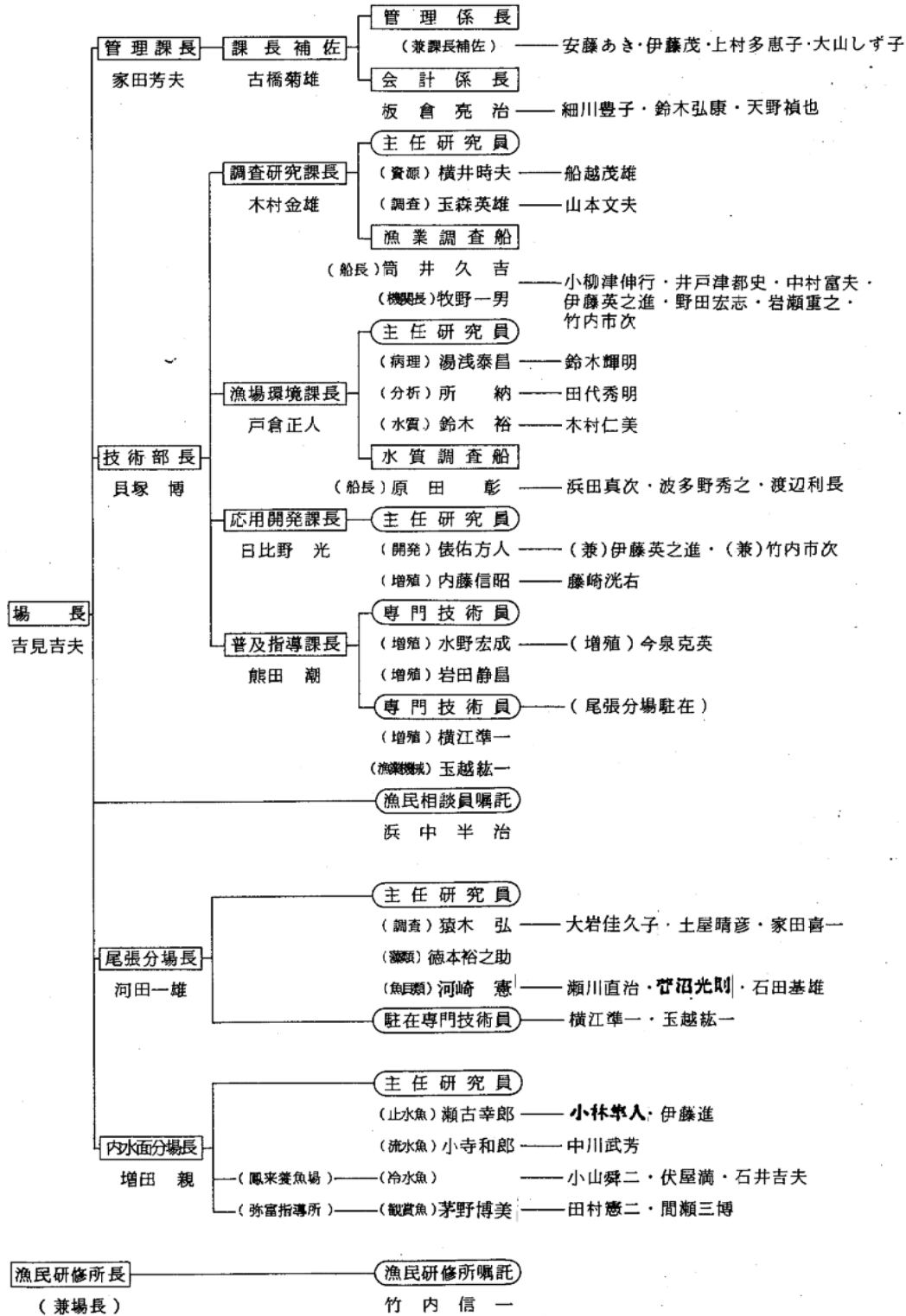
(4) 漁民研修所

所在地 蒲郡市三谷町若宮97(本場構内) 設置年月日 昭和41年4月19日

建物等

名 称	構 造	数 量	面 積
漁民研修所	鉄筋コンクリート2階建	1	332.28㎡

機構と職員



昭和48年度～51年度刊行物

愛知水試研究業績Bしゅう

整理番号	発行年月	表 題	発 行
1	年 月 49. 7	赤潮による水産生物の被害防除、抑制技術に関する研究	東 海 区 水 研 愛 知 水 試

愛知水試研究業績Cしゅう

整理番号	発行年月	表 題	発 行
1	年 月 48. 6	昭和47年度指定調査研究助成事業のり病害研究	愛 知 水 試
2	48. 3	昭和47年 藻場保護水面効果調査報告	〃
3	48. 9	昭和48年度農林技術会議派遣研修報告書 養殖魚の細菌性疾病について	愛知水試鳳来養魚場
4	48. 3	昭和47年度(その4) 渥美火力発電所放水口付近生物調査結果について	愛 知 水 試
5	48.12	〃 (その5) 〃	〃
6	49. 3	愛知県産ガザミの生態	〃
7	49. 3	昭和48年度 太平洋中区栽培漁業漁場資源生態調査報告書	〃
8	49. 6	昭和48年度指定調査研究総合助成事業のり病害研究	〃
9	49. 3	伊勢、三河湾における降海あまご調査及びあまごの海域放流試験	愛知水試鳳来養魚場
10	49. 6	三河湾における赤潮および無酸素水塊に関する調査報告(第2報)	愛 知 水 試

事業別予算（執行額）

	千円	千円	千円
水産試験場費	275,525		
試験費		58,074	
魚類増殖技術試験費			21,086
藻類増殖技術試験費			2,537
水産資源調査試験費			8,079
魚場環境調査試験費			9,041
沿岸近海漁業調査試験費			17,331
水産種苗供給事業費		2,740	
漁民研修所運営費		4,579	
海況自動観測塔運営費		5,293	
漁業情報サービスセンター負担金		720	
小計		71,406	
管理費		8,367	
人件費		195,752	
水産業振興費	8,874		
公害対策費（環境部）	21,011		
その他	2,818		
合計	307,728		

整理 番号	発行年月	表 題	発 行
11	4 9. 3	昭和48年度 漁況、海況予報事業結果報告書	愛 知 水 試
12	4 9. 4	昭和48年度沿岸重要資源調査報告書	〃
13	5 0. 3	昭和49年度(クルマエビ・カレイ) 太平洋中区栽培漁業漁場資源生態調査報告書	〃
14	4 9. 3	昭和48年度 藻場保護水面効果調査報告書	〃
15	5 0. 6	昭和49年度指定調査研究総合助成事業 のり病害研究	〃
16	5 0. 3	昭和49年度 藻場保護水面効果調査報告	〃
17	5 1. 1	う な ぎ	愛知水試内水面分場
18	5 1. 3	昭和50年度水産庁委託事業 漁業公害調査(PCB)報告書	愛 知 水 試
19	5 1. 3	冷水性養殖魚(ニジマス・アマゴ)の病害 調査試験	愛知水試鳳来養魚場
20	5 1. 6	昭和50年度指定調査研究総合助成事業 沖合養殖技術向上試験	愛 知 水 試
21	5 1. 3	昭和50年度人工魚礁調査	〃
22	5 1. 3	昭和50年度 藻場保護水面効果調査報告	〃
23	5 2. 1	昭和48～50年度 水質監視調査結果の考察	〃
24	5 2. 3	昭和51年度 藻場保護水面効果調査報告	〃
25	5 2. 3	昭和51年度人工魚礁調査	〃

整理番号	発行年月	表 題	発 行
26	年 月 5 2. 8	昭和51年度水産庁委託事業 漁業公害調査（P.C.B.）報告書	愛 知 県

そ の 他

整理番号	発行年月	表 題	発 行
1	年 月 4 9. 6	昭和48年度 愛知の水産研究	愛 知 県 愛 知 県 漁 連
2	5 0. 6	昭和49年度 愛知の水産研究	// //
3	5 1. 6	昭和50年度 愛知の水産研究	// //
4	5 2. 6	昭和51年度 愛知の水産研究	// //